

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

事業名 経営体育成支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 担い手対策室 電話番号：058-272-1111 (内4088)
経営体強化育成係

E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 116,000 千円 (前年度予算額： 116,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	116,000	116,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	116,000	116,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・農業経営基盤強化促進法の改正により、市町村において、地域農業のあり方や農地利用の姿を明確とした地域計画 (目標地図を含む) の策定が必要となっている。
- ・目標地図に位置付けられた者が、地域が目指すべき農地利用の姿の実現に向け、生産効率化等の取組みを支援する必要がある。

(2) 事業内容

- ・目標地図に位置付けられた者等が、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向け、生産の効率化等に取り組む場合に必要な農業用機械・施設の導入を支援する。

- ・事業主体：市町村
- ・補助率：融資残額のうち事業費の3/10以内 等
- ・補助上限額：300万円等
(目標地図に位置付けられた者は、上限600万円)
[先進的農業経営確立支援タイプ (広域に展開する農業法人等の経営の高度化を行う場合) は、個人1,000万円、法人1,500万円]
- ・優先枠の設定
イノベーション優先枠 (ロボット技術、ICT機械等の導入)
集約型農業経営優先枠 (中山間地域等での集約型農業に必要な機械等の導入)
グリーン化優先枠 (「みどりの食料システム戦略」を踏まえた環境に配慮した営農に必要な機械等の導入)

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

国の農地利用効率化等支援交付金を活用。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	116,000	事業主体：市町村 助成対象者：目標地図に位置付けられた者、認定農業者、 認定新規就農者、 地域における継続的な農地利用を図る者
合計	116,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

第6章1 (1) ぎふ農業・農村を支える人材

(2) 国・他県の状況

全国で同様の事業が実施されている。

(3) 後年度の財政負担

国費事業である。

(4) 事業主体及びその妥当性

農業経営基盤強化促進法において、地域計画は市町村が策定することとされていることから、事業主体として妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・目標地図に位置付けられた者等に対し、生産の効率化等に必要な農業用機械等を支援し、経営発展を図ることで、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

地域計画に位置付けられた目標は、個々の経営体によって異なるため、統一的な指標を示すことはできません。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。 R1（補正）分 4経営体 補助金額19,956千円 R2 当初分 4経営体 補助金額 4,961千円 事業を実施した経営体の経営発展等が進み、地域農業の持続的発展等が見込まれる。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	・取組内容と成果を記載してください。 R2（補正）分 2経営体 補助金額13,662千円 R3 当初分 3経営体 補助金額 2,627千円 事業を実施した経営体の経営発展等が進み、地域農業の持続的発展等が見込まれる。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>目標地図に位置付けられた者等のの経営発展等を図ることで、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現につながるため、事業の必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>当該事業により、経営発展等を目指す経営体の機械等の導入が進むことで、地域の農業を担う効率的かつ安定的な経営体の育成・確保が図られている</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>市町村、JAなど関係機関の連携により、事業の効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 担い手の高齢化が進み、今後も担い手不足が懸念される中、地域が目指すべき農地利用の姿の実現に向け、効率的かつ安定的な経営体を育成・確保するため、経営基盤の強化が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域が目指すべき農地利用の姿の実現に向け、今後も、経営基盤強化に資する支援を実施し、効率的かつ安定的な経営体の育成・確保が必要である。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	